

大学・短大

# 運動部員が 救護法学ぶ

西村教諭から救護法について学ぶ運動部の学生  
= 第二体育館柔道場



## AEDの使い方

金沢学院大学・短期大学の運動部員を対象にした救急蘇生法講習会は二月十六日、第二体育館柔道場で行われ、参加した各部の代表合わせて三十一人が、AED（自動体外式除細動器）の使い方を含めて、不慮の事故や急病に備えました。

早朝や夜間など指導者や教職員がいない場所、時間帯でも学生が緊急事態に対応できるようにと開かれました。講師は、日本赤十字社の指導員資格を持つ西村裕樹東高校教諭らが務めました。

参加した学生は、人工呼吸法、傷病者の救護法、AEDを使用した心肺蘇生法を実際に人形や模擬装置を使って体験しました。また、緊急時の連絡方法や、学内のどこにAEDが設置されているかも確認しました。

## 留学生と楽しく英会話

金沢学院大学文学部主催の留学生と語る会は二月十二日、3号館教室とカフェテリアで開かれました。参加した学生は、各国の留学生と懇談しながら英会話を学びました。

訪れたのは、バングラデッシュ、インド、韓国、インドネシアからの留学生四人です。

初めに留学生がそれぞれ、英語の勉強方法、母国の紹介などを行ったあと、四つのグループに分かれて、日本の印象や趣味、習慣の違いなどについて和やかに懇談しました。



留学生（右手前）と懇談する学生  
= 3号館カフェテリア

## ロビーに彩り

大学・短大華道部展

金沢学院大学・短期大学の華道部作品展「写真下」は二月十五、十六日、金沢市のANAクラウンプラザホテル金沢で開かれ、生け花十点がロビーを彩りました。

会場にはチューリップ、カーネーション、カスミソウ、桃など白、黄色、赤、ピンクの多彩な色の花々と緑の葉が大胆、優雅に生け



られ、同ホテルを訪れた人たちの目を引きました。

## 動機づけと意思の疎通大切

運動部員が冬期合同講習

東高

金沢学院東高校の運動部冬期合同トレーニング講習会は二月十六日、大学2号館研究棟で、約百八十人の運動部員が参加して開かれました。長岡工業高専の前川直也氏が「モチベーションの維持とコミュニケーションの重要性」のテーマで講義を行いました。

長岡講師は、「モチベーション（動機づけ）のポイントは期待であり、適切な目標設定も重要である」と説きました。また、効果的な目標の設定、戦略なども解説しました。



冬期講習を受ける生徒 = 2号館研究棟

部の出場登録選手をどう選ぶかの課題を、選手の特徴データを基に討論し、その理由、反省点、改善点などをまとめて発表しました。



4研究室が卒論発表会  
金沢学院大学経営情報学部  
部の阿手、田中、中西、南の四研究室合同卒論発表会は二月十四日、2号館教室で開かれ、延べ十五人の学生が、経営戦略の分析や考案したシステム、ゲームなどを解説しました。

## 就職試験対策へ講座

金沢学院大学の就職試験対策講座は二月十四日から五日間の日程で4号館教室で開かれ、百三十五人が本番に備えて真剣な表情で問題に取り組みました。講座は、数理的な考え方、文章題のアプローチ、統計グラフ、論文文、一般常識、事故表現などについて解説と指導がありました。このうち、現代文の読解方法では講師が「知識と知能の両方をバランスよく使う」などと助言しました。写真左